



恐竜渓谷ふくい
勝山ジオパーク

～ 恐竜博物館開館10周年記念 ～

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークツアー

小中学生
親子対象

夏休み期間中に、市内外の小中学生親子などを対象に、恐竜化石発掘地などの地質・地形遺産をめぐるジオパークツアーを開催します。勝山市の貴重な地質・地形遺産や、豊かな自然などに触れ合い、ジオパークの楽しさやおもしろさを体感してみませんか。

開催日 7月21日～8月19日の毎週水、木曜日
午前9時40分～午後4時10分

コース えちぜん鉄道勝山駅→恐竜化石発掘地→福井県立恐竜博物館→
かつやま恐竜の森(昼食・発掘体験)→大矢谷白山神社→
はたや記念館ゆめおれ勝山→えちぜん鉄道勝山駅
※コースは天候などにより変更する場合があります

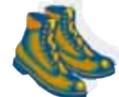
定員 各回25人(先着順)

参加対象 小中学生とその保護者など

参加費 施設入館料および体験参加料の実費のみ
※お弁当は各自持参です

記念品 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークに関する参加記念品あり

申・問 未来創造課ジオパーク推進室(☎88-1115)



ジオパーク市民講演会開催

「地球の営みを知り楽しむジオパークとは？」

約100人がジオパークへの関心を深める



講師の加藤碩一さん

5月17日午後7時から福祉健康センター「すこやか」において、ジオパーク市民講演会が開催されました。

日本ジオパーク登録に際し、助言をいただいていた(独)産業技術総合研究所フェロー・地質調査総合センター代表の加藤碩一さんを講師にお迎えし、「地球の営みを知り楽しむジオパークとは？」をテーマに、

世界や日本でのジオパークの取り組み状況について、写真を交えながらわかりやすく講演されました。

会場に集まった約100人の市民からは、ジオパークを活かした地域経済の活性化や地質・地形遺産の

保護とその活用策についてなど、さまざまな意見や質問がありました。加藤さんは日本ジオパーク委員会委員としての立場から、実際の例をあげながら「ジオパークを紹介するストーリーをうまく組み立てれば、知的好奇心を大いに刺激する題材になる。」と、今後の恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの取り組みに対してアドバイスされました。



ジオパークについて意見や質問が出されました



あいさつする梅田教育長



全体会の様子



地区別委員会の様子



次世代育成委員会の取り組み

子どもの数が年々減少傾向にある中、市では、家庭・地域・学校が連携して、これからの「わがまち子育て支援」の在り方を考えることを目的として、次世代育成委員会を立ち上げています。5月21日、次世代育成委員会全体会が開かれ、各地区における今年の具体的な行動目標と重点的な取り組みが話し合われました。

子どもはわがまちの宝

本年度の各地区の取り組み内容

平泉寺地区

朝のあいさつ運動では強化期間を設け、町民挙げて集中的にあいさつを行います。また、恒例のもちつき交流会を開催し、多くの住民との交流を目指します。

村岡地区

公民館前交差点で、子どもたちと一緒にあいさつ運動を実施するなど、地域が一体となってあいさつの励行に取り組みます。



野向地区

シバザクラの植え付けや山火事防止活動、エゴマの種まきから収穫までの体験などを通して、子どもたちが野向町のよさを感じ取ることができる活動を行います。

猪野瀬地区

各種イベントを企画するうえで、子どもたちの代表者にも企画の段階から参加してもらうようにします。



勝山地区

ボランティア活動など、人を思いやる心を育てる活動に取り組みます。また、12月には『まちをきれいに』をテーマにした勝山地区合同クリスマス会を開催します。

荒土地区

敬老会や文化祭への子どもたちの積極的な参加・協力を求めていくなど、ボランティア精神を育てるための活動を行います。また、町民挙げての「早朝ラジオ体操祭」を実施します。

遅羽地区

子どもたちを地域の中で育てられるような町を目指すべく、地域や学校が連携して各種行事を開催し、子どもたちと共に参加していきます。



鹿谷地区

「地域の子どもは、地域で育てる」テーマのもと、わくわく合宿通学を行います。また、子どもたちに地域行事への参加を呼びかけ、地域の大切な住民であるという自覚を促します。

北郷地区

わくわく合宿通学や地域見守り隊の活動を通して、あいさつや声かけが気軽にできる環境づくりを目指し、『地域全体による子どもたちの育成』を実践します。